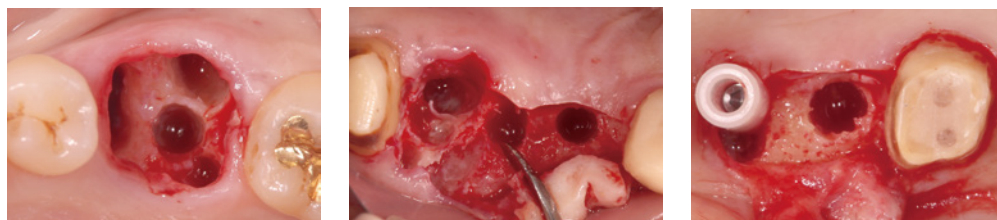


インプラントジャーナル 77号

特集 Counterclockwise drilling による Osseodensification コンセプト

林 揚春



骨質や骨形態、皮質骨の厚みなどは症例によって様々で、異なった骨質が混在したケースなどは、ドリルが軟らかい骨質の方向へ流される傾向がある。そのような環境で正確なドリリングが行えたとしても、インプラントの埋入時には、インプラントが軟らかい骨質の方向へ傾斜してしまう危険性も孕んでいる。また埋入されたインプラントが、最適な初期固定を得られているのかも疑問が残る。本特集では、**Counterclockwise drilling** というドリリングテクニックを応用することで、正確なインプラント埋入窩の形成と骨質改善を同時に行うという**Osseodensification** コンセプトの考え方と臨床の実際について述べてみたい。

国際 A4 判・季刊発行
定価：4,300 円 + 税
編集・発行：ゼニス出版

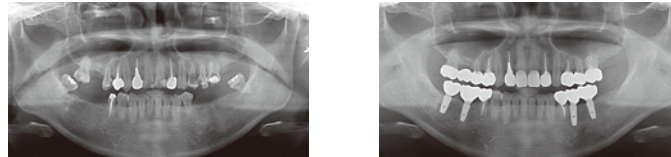
インプラントジャーナルのバックナンバーおよびゼニス出版の書籍は www.zenith-press.com でご覧いただけます。

Other contents

- 進化するサージカルガイドシステム Part 3
サージカルガイドシステムを用いたインプラント治療の実際
覚本 嘉美 + 八木原 淳史 + 遠藤 学 + 大塚 保光 + 福田 輝幸 + 小澤 仁 + 坂巻 良一



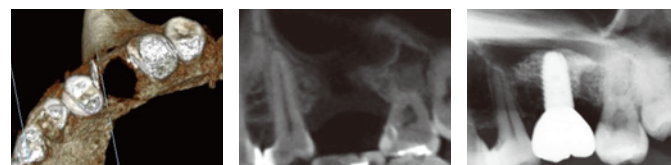
- インプラント治療におけるデジタルアプローチ
口腔内スキャナおよび DIOnavi. システムの活用
李 昌弘



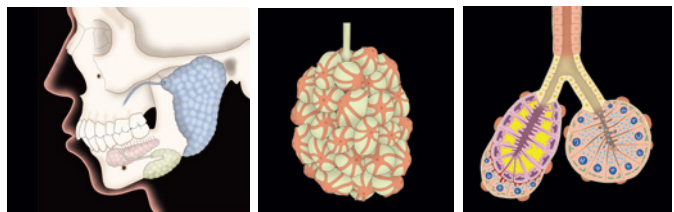
- 連載 歯科における記録と伝達のための写真術
Part 2 カメラの必要画素数と基本設定
岩崎 智幸



- 既存骨 0mm のクレストルアプローチについて
水口 稔之 + 北村 英嗣



- 検体検査で何がわかるの？
第 10 回 唾液腺・唾液 井上 孝



- パラファンクションを有する臼歯部遊離端欠損症例への
インプラントを用いた咬合再構成
- リポジショニングアプライアンスの有効性について -
福岡 拓郎



- 誌上座談会
硬組織再生に関するリン酸カルシウム研究の歴史と製品開発を語る
(前編) 高木 章三、菅原 明喜、平山 聡司

- 新製品紹介 インプラント初期固定値・二次固定値測定計「AnyCheck」

